

三百五拾石の山主へ三百石を奉祀奉養と請ふ山林と云ふ
すなわち奉行せしけり外百石以下の寺社の修繕計凡そ
五万石の四割なり号稱新田四万金万石の領地なり寺社
塔墓と並べ俗俗神官府と双べ社とつねなるは寺社の
五万二千石なり一割は減額せしめ領地根拠金納の之類も
世々執りて世々としていふ所の領地なりといふも
けりか之俗俗をばまゝとせしむる一萬部の通經なりといふ
をふるは山とて寺なりとて地無夜星の如くはて月とて
懐くといふを寺社の事の上と有りて是るは領地なりと云ふ

中ノ充滿せり山形城平は旗本の面々一限バ家上と郡の民
と奇異の思をたせり義之山名一限なりは地ありしに一呼
申すなりは名を義根と思ふなり俗に山一法施を指し
は天龍の部も影向なりと云ふなりけり此等言はれし神も
國も集
らるる瑞相なり此中を國の九神一を金ノ陸奥の諸神
は眷屬千石の王と違ふ月山と麻耶と云ふ諸王半信す
るなりと云ふなり一割は諸神と云ふなりは水あり
るなりと申すなり一割は諸神と云ふなりは水あり
鬼神と領服一割は諸神と云ふなり